

令和3年度

メディカル・カレッジ青照館
学校関係者評価報告書

令和3年度 学校関係者評価報告書

1 はじめに

学校法人青照学舎が運営するメディカル・カレッジ青照館の学校関係者評価委員会は、学校評価に関する関連法令に基づき、令和3年度の自己評価報告を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここにご報告します。

学校関係者評価は、学校自らが選任した教育関係者、業界関係者、卒業生、保護者等の学校関係者が、学校自らが実施した「自己評価」の結果について評価することを基本として行う評価で、ホームページ等に公表いたします。

本校といたしましては、学校関係者評価の結果を踏まえ、今後も学校関係者と連携・協力し、学校運営の改善・強化、教育の質の向上、教職員の資質・能力の向上を図って参ります。

2 学校関係者評価について

(1) 目的

学校関係者評価は、自己評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高め、卒業生、関係業界、職能団体、高等学校、保護者と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善等を図ることを目的とします。

(2) 評価のポイント

- ① 自己評価結果の内容が適切か。
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は適切か。
- ③ 学校の重点目標や自己評価項目等が適切か。
- ④ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か。

(3) 評価期間

2021年4月1日～2022年3月31日

(4) 評価結果の公表

- ① 評価結果や今後の改善方策等を取りまとめ公表します。
- ② 評価結果は、今後の学校運営や教育活動等について具体的に改善を図ります。

3 学校関係者評価委員会について

(1) 活動内容

- ① 自己評価結果の評価
- ② 学校関係者評価委員会の開催
- ③ 改善意見、助言
- ④ 施設等の確認

(2) 学校関係者評価委員会の委員、事務局

① 学校関係者評価委員 7名

委員氏名	所属名	役職名
大脇 秀一	公益社団法人 熊本県理学療法士協会	専務理事
青山 和美	一般社団法人 熊本県作業療法士会	理事
上村 龍輝	社会福祉法人 恩賜財団 済生会みすみ病院 リハビリテーション室	副技師長
財津 岳士	社会福祉法人 恩賜財団 済生会みすみ病院 リハビリテーション室	係長
山下 弘昭	熊本県立八代清流高等学校	教頭
吉中 真美	メディカル・カレッジ青照館	後援会代議員
宇野 晃輔	社会医療法人 黎明会 宇城総合病院	理学療法士

② 学校関係者評価事務局（教職員） 5名

氏名	所属名	役職名
藤岡 正導	メディカル・カレッジ青照館	学校長
黒川 一也	メディカル・カレッジ青照館	副学校長 兼 法人事務局長
瀧本 文博	メディカル・カレッジ青照館	教務部長
楠本 敏文	メディカル・カレッジ青照館	理学療法学科長
小野 厚美	メディカル・カレッジ青照館	作業療法学科長

(3) 評価項目

- 基準1 教育理念・目標・育成人材等
- 基準2 学校運営
- 基準3 教育活動
- 基準4 学修成果
- 基準5 生徒支援
- 基準6 教育環境

- 基準8 財務
- 基準9 法令等の遵守
- 基準10 社会貢献・地域貢献

(4) 学校関係者評価委員会の開催状況

- ① 日 時 : 令和4年6月14日(火) 14時~16時
- ② 開催方法 : 当該委員会については年1回の委員会開催が職業実践専門課程の認定要件として求められているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、一堂に会した開催を中止し、オンラインにて開催した。
- ③ 参加者 : 学校関係者評価委員7名、学校関係者評価事務局5名
- ④ 議題・内容 : 開会
学校長挨拶
委員及び事務局職員紹介
職業実践専門課程に関する説明
令和3年度自己評価結果についての説明
質疑・意見交換
閉会

4 自己評価結果に対する学校関係者評価、委員の意見

(1) 自己評価結果に対する学校関係者評価委員の評価、意見等を実施状況に照らし、以下の5段階で記載した。

- ・適切(実施)
- ・ほぼ適切(概ね実施)
- ・普通(問題や課題はあるが一通り実施)
- ・やや不適切(少し実施)
- ・不適切(実施していない)

(2) 委員の意見

学校関係者評価委員会での意見を各項目毎(基準毎)にまとめた。

5 評価項目毎の状況

評価項目の基準1~基準10までの状況は以下のとおりである。

(基準7については、2020年度より学生募集停止のため項目より削除)

基準1 教育理念・目標・育成人材像	評価	適切
-------------------	----	----

【委員の意見】

- ・質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・特になし

基準2 学校運営	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・特になし

基準3 教育活動	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・国家試験不合格者について。今年度で閉校になるが、そのような状況の中で国家試験不合格者が出た場合の対策はどうするのか？

→閉校後は、駅前校において従来から本校で行っていたものと同様の支援を行っていく。
駅前校の隣には、関連施設のグッドライフ熊本駅前があり、不合格者はそちらでアルバイトをし、休日は駅前校にて勉強を行っている。特に今年度からはそのような動きが多くなっており、今後も同様の対応を行っていく。

【改善・対策】

- ・特になし

基準4 学修成果	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・特になし

基準5 生徒支援	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・ 質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・ 特になし

基準6 教育環境	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・ 質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・ 特になし

基準8 財務	評価	適切
--------	----	----

【委員の意見】

- ・ 質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・ 特になし

基準9 法令等の遵守	評価	適切
------------	----	----

【委員の意見】

- ・ ハラスメントがあった場合の、対応や流れは整備されているのか？

→ハラスメントの窓口として男性と女性の担当を選任し、窓口として対応に当たっている。報告があった場合には、すぐに委員会を招集し、その後必要があれば学校運営員会で検討、必要な対処をしていく流れである。

【改善・対策】

- ・ 特になし

基準10 社会貢献・地域貢献	評価	適切
----------------	----	----

【委員の意見】

- ・質疑、意見なし

【改善・対策】

- ・特になし

6 総括

委員の皆様方による御意見や御提案は、閉校までの課題解決に向けて大変貴重なものとなった。閉校までの期間、学校の諸課題を解決するために、学校関係者委員の御意見を参考に教職員自らが改善に向けて活動し、学校運営の改善・円滑化、教育の質の確保・向上に向けて取り組んで参りたい。

以 上